

令和3年度 伴走型小規模事業者支援推進事業 地域経済動向調査まとめ

(令和3年 2021年 6月値・要約版)

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域が、全国と比較してどのような特徴があるのか等を分析しています。詳細はたつの市商工会HPで公開しています。

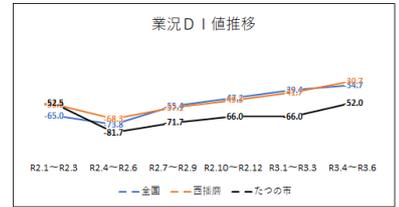
(データ出先：小規模景気動向調査、兵庫県中小企業景況調査、西播磨地域景況調査、たつの市商工会景況調査)

産業全体の景気動向の推移

〈用語説明〉D I値＝「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す
(調査事業所4、「好転」事業所1、「悪化」事業所3なら、25%-75%=-50%がD I値)

〈概要〉

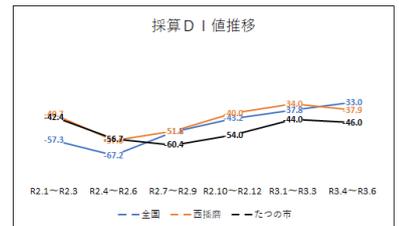
全体として今回の業況は前期と比較すると改善に転じたことを調査結果は示しているが前期は最長73日間に渡る2回目の緊急事態宣言下にあったこと、足元も新型コロナウイルス感染の収束は不透明な状況であることなども踏まえると、今後の中小企業の先行きには引き続き注視が必要である。中小企業の景況を回復させるための継続的な対策が求められる。



〈地域別〉

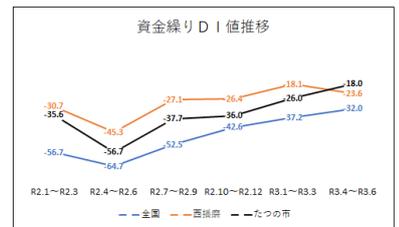
【全国】

2021年4-6月期の全産業の業況判断DIは、▲34.7(前期差4.7pt増)となり、前期から改善した。製造業の業況判断DIは、▲32.8(前期差11pt増)となり、前期から改善した。建設業の業況判断DIは、▲35.1(前期差12.1pt減)となり、前期から悪化した。商業の業況判断DIは、▲31.1(前期差7pt増)となり前期から改善した。サービス業の業況判断DIは、▲39.7(前期差12.8pt増)となり、前期から改善した。どの業種も前期に比べて大きな増減もあり、2桁台の改善もあったが業況は安定していない状況である。



【兵庫県】

企業の業況判断は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが残る。個人消費は足踏みの動きとなっている。輸出は増加しており、設備投資は減少計画にあるものの堅調である。生産は総じてみれば持ち直している。有効求人倍率は前月を上回ったが賃金は弱い動きとなっている。倒産件数は前年を下回った。

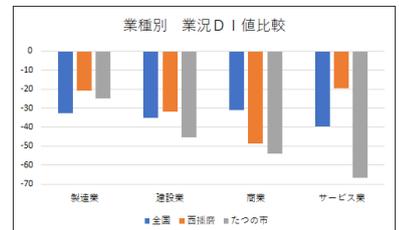


【西播磨】

西播磨全体の業況は、▲30.7(前期差11pt増)と回復、売上高は、▲32.1(前期差8.2pt増)と回復、採算状況が、▲37.9(前期差3.9pt減)と悪化、資金繰りは、▲23.6(前期差5.5pt減)と悪化傾向。来期は、▲18.6(前期差14pt増)で回復する見込みとなっている。全国と比較すると業況は大きく変わらず、売上額と採算は減少となり、資金繰りについては少しの改善となっている。

【たつの市】

たつの市の業況は、▲52.0(前期差14pt増)と改善、売上高は、▲50.0(前期差18pt増)と改善、採算状況は、▲46.0(前期差2pt減)と悪化、資金繰りは、▲18.0(前期差8pt増)と改善。来期は、▲52.0(前期差16pt増)で改善するとの見通しとなっている。業況、売上、資金繰りの改善が見られるが、引き続き飲食店の休業による酒類卸売業や食料品販売店は危機的な状況が続いている。緊急事態宣言の延長も度重なり、各業種においても先行きが見通せない状況である。



〈業種別業況〉

全国的には、小規模企業の業況DIは、建設業が横ばいとなったが、その他の業種では大幅な改善となった。ワクチンの普及により、経済活動が活発化し、業況も少しずつ回復傾向にあるが、製造業と建設業についてはウッドショック等、原材料価格高騰の影響が出始めており、今後の採算の確保に悪影響が出ることを懸念する声が多く見られた。第5波による緊急事態宣言再発令や、まん延防止等重点措置が続く中で、全業種において未だ厳しい状況が続いており、先行きが不安視される。

〈総括コメント〉

国内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進する中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続く事が期待される。但し、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。又、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

たつの市においては、人流が多い地域柄、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ、緊急事態宣言の早期解消に向けた取り組みと合わせ、事業者においては政府の経済対策(月次支援金・持続化補助金・感染症拡大防止協力金・事業再構築補助金等)も十分に活用しながら事業継続への取り組みが引き続き積極的に行われている。

管内の雇用情勢

〈用語説明〉有効求人倍率 = 求人数 ÷ 求職者数
(仕事が20件 求人応募者10人なら2.0倍)

令和3年6月期の有効求人倍率は、全国1.13倍、兵庫県0.97倍、龍野管内0.76倍となっている。令和3年1月期から全国においても横ばい傾向で、兵庫県も同じく横ばい、たつの市は下降に転じている。兵庫労働局は、雇用情勢について求職が求人を上回っており、厳しい状況にあるとの情勢判断を継続した。加えて新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に引き続き注意が必要であるとの見方も維持した。

